日本共産党岡山市議会議員　東つよしニュース(通算107号)
岡山市南区福島2-7-21(自宅) 2019年8月版
086-803-1707（市議団控室） Mail: azuma.p@s8.dion.ne.jp

あずま 東 とう つよしの 奔西走

継続すべき 被災者の医療費免除

被災した住民らと、市長に申し入れ(7/12)

他自治体は継続なのに

岡山市は国の財政支援終了にあわせ、6月末で被災者への国保の医療費や介護保険利用料の免除を打ち切りました。多くの被災自治体や後期高齢者医療、協会けんぽは免除を継続しています。真備で被災し、岡山市内のみなし仮設住宅に入った被災者だけが免除打ち切りという事態になるのです。

困窮者には個別対応へ

7月に入ってから市は、生活再建できていない被災者は個別に対応すると言いだしました。免除継続を求める被災者らの申し入れに、市長は「個別の相談があればシャットアウトしない」と言いました。

免除の明確な基準が示されず窓口がバラバラなどの問題があります。まず日本共産党岡山市議団にご相談ください。

くらしと政治をみんなで語る会

日本共産党岡山市議団は7月28日、高松公民館で「くらしと政治をみんなで語る会」を開きました。毎議会後に市議団全員で行っている市政報告会を、参加者みんなが意見を出し合える形にしたもので、改選を機に挑戦しました。森脇ひさき前県議も参加しました。

出された意見を元に
議員を交えて話し合います

初当選した菅原おさむ市議の報告の後、付箋に話したいこと、聞きたいことを書き、語り合いました。

「桃太郎線ＬＲＴ化が決まったかのように報道される。これでいいの？」「国保料が四千円上がった。苦しい」などの声から話し合いました。ＬＲＴ化について、岡山市では運賃が上がることすら市民が聞かないと説明しません。総社市のような市内全域での説明会が必要です。国保料は昨年度から7年連続値上げが始まっています。値下げのためにお金の使い方をくらし優先に変えることが必要です。

ひとこと

参院選で自民、公明、維新の改憲勢力が、改憲に必要な参院3分の2を割り込みました。安倍総理が憲法を変えると公約した中で下ったノーの審判です。日本共産党は残念ながら1減の7議席でした。2年前の総選挙より8万票増やしたことを土台にいっそうがんばります。（東つよし）